

(つちだの独り言補充)

Face 提供明治安田生命野球部ページから転用

【東京都企業春季大会】NTT 東日本をタイブレーク猛攻で下し決勝進出【岸本選手起死回生同点タイムリー】

<東京都企業春季大会 1回戦 vs.セガサミー>

明治安田 0 0 1 0 0 0 0 0 2 10|1 3

NTT東 0 0 2 0 0 0 1 0 0 2|5

(延長 10 回からタイブレーク)

バッテリー：

三宮、高杉、中崎、小玉-森川、岸本

本塁打：高瀬

雨中の準決勝は、9 回劇的なドラマから最後は思わぬ展開が待っていました。

試合は 3 回表、2 死 2 塁のチャンスから新城拓選手のタイムリーで先制も、

その裏タイムリーと犠牲フライで 1-2 と NTT 東日本が逆転。

先発三宮舜投手は 3 回 2 失点で 4 回から 2 番手高杉勝太郎投手へ。

4,5,6 回と 0 を並べましたが、

7 回にソロホームランを浴び 1-3 と 2 点差に。

雨脚が強まってきた試合終盤。

8 回中崎響介が 3 番手で登板し 0 で抑え、味方の反撃を待つと、

9 回表、

南保良太郎選手、鈴木萌斗選手が四球を選んで 1,2 塁のチャンス。

2 死になったところで代打岸本朋也選手の打球はレフトへ

フェンス際の打球レフトが取れず 2 人生還して土壇場で 3-3 の同点に。

記録はレフトのエラーでしたが、あと一歩でホームランの良い当たりでした。

裏の守備を 4 番手小玉和樹投手が締めて、

試合は無死 1,2 塁継続打順のタイブレークによる延長戦へ。

福岡高輝選手がきっちりバントを決めて 1 死 2,3 塁とチャンスを広げ、

先制タイムリーの新城選手が一、二塁間を破る 2 点タイムリーで 5-3 と勝ち越し。

その後 1 死満塁のチャンスを作ると、羽根龍二選手、鈴木萌斗選手が四球を選んで連続押し出しで 2 点を追加。

なおも満塁で高瀬雄大選手がライトスタンドへ、11-3 とリードを大きく広げる満塁ホームラン。

それでもなお攻撃の手を緩めず、1 死 1,3 塁から福岡高輝選手犠牲フライ、泉澤涼太選手もラッキーなタイムリーエラーで追加点が入り、タイブレークとはいえこの回 10 点のビッグイニング。

10 回裏の守りでは 2 点を失うも逃げ切り、13-5 で NTT 東日本相手に久々の勝利。

東京都企業春季大会準決勝進出を決めました。

予定されていた第 2 試合の準決勝もうひとカードが中止になる程の、

試合終盤には何度かマウンドに土を入れ整備される程の厳しいコンディションの中、選手達はよく戦いました。

相手の NTT 東日本の方が雨に苦しめられて、結果としてはこの大差になったと思います。

天候が晴れならスコアはかなり違うものになっていたことでしょうか・・・。

それにしても、明治安田生命にとっては、

春季大会での決勝進出、NTT 東日本相手の勝利、1 イニング 2 桁得点、満塁ホームランと、

これっていつ以来だっけ？のオンパレードな勝利となりました・・・(笑)

ここからは自分の記憶が正しければ、の話になりますが・・・

公式戦で 1 イニング二桁得点は 11 年ぶり。

2012 年、日本選手権予選の JR 千葉戦での 11 得点以来。

<http://yuwakai.org/.../yakyubu2012/2012%20n-s%20jrchiba.pdf>

満塁弾は 2014 年の東京都企業春季大会、鷺宮製作所との 3 位決定戦で、

森川隆宏選手が放って以来 9 年ぶり。

<http://yuwakai.org/.../tokyo-kigyo%20vs%20saginomiya2014.pdf>

東京ガス大森グラウンド開催でしたが、あのときも雨だった気がします。

東京都企業春季大会の決勝進出は 2012 年以来 11 年ぶり。

決勝では JR 東日本に敗れ準優勝でした。

<http://yuwakai.org/yakyubu/yakyubu2012/2012vs%20jreast.pdf>

優勝は・・・したことあるのかちょっとわからないですね (苦笑)。

秋季大会なら 2017 年に優勝したのですが。

そして NTT 東日本からの勝利はその 2017 年、優勝した東京都企業秋季大会の準決勝以来のようです。

長かったですね・・・(笑)

次は決勝戦。

3 月 25 日 (土) 第 2 試合 12:00 から、(25 日雨天順延・3 月 28 日【火】東京ガス大森グラウンド 試合開始 13 時 日程変更

鷺宮製作所対 JP アセット証券の勝者の対戦します。(鷺宮製作所と対戦)

〇は土田が訂正